

アネスト岩田株式会社 2026年3月期2Q 決算補足説明資料

2025年11月10日

東証プライム市場 機械

証券コード6381

2026年3月期2Qの実績

- 売上高は、26,325百万円(前年同期比-2.7%)
 - エアエナジー事業は、減収減益。中国においてエアエナジー事業の回復が遅延
 - コーティング事業は、減収減益。欧米の塗装機器売上が減少
 - その他事業は、増収赤字。ECサイト販売が拡大も、新規事業の先行投資により赤字
- 営業利益は、2,511百万円(前年同期比-15.2%)
 - 売上原価率は改善も、売上減少による売上総利益の減少や販売管理費の増加により減益
- 一方、経常利益及び中間純利益は、主に為替損益の好転により期初予想を上回る
- 中間配当金は、計画通り一株当たり41円で実施

2026年3月期 通期業績見通し

- 国内外での値上げと販売促進策の実施などにより計画達成を目指す。よって、前回見通し(2025年5月9日発表)を据え置き

売上の減少や販管費の増加などにより減益。一方、主に為替損益の好転で経常利益以下の減益幅は縮小

■ 売上高における為替の影響は-556百万円

■ 為替差損120百万円が消滅し、為替差益が116百万円が発生

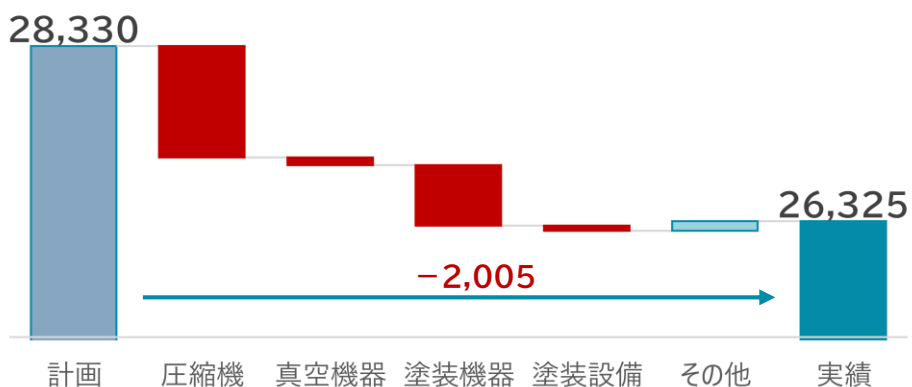
	2025年3月期2Q		2026年3月期2Q		前年同期比			2026年3月期 業績予想	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化(pt)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	27,060	—	26,325	—	-735	-2.7	—	58,000	45.4
営業利益	2,962	10.9	2,511	9.5	-450	-15.2	-1.4	5,550	45.2
経常利益	3,462	12.8	3,296	12.5	-166	-4.8	-0.3	6,710	49.1
親会社株主 帰属純利益	2,194	8.1	2,160	8.2	-34	-1.5	+0.1	4,150	52.0
平均 為替 レート	円/ 米ドル	152.25円	148.60円		3.65円	円高		151.50円	
	円/ ユーロ	164.60円	162.15円		2.45円	円高		164.00円	
	円/ 人民元	21.05円	20.47円		0.58円	円高		21.00円	

【為替の感応度について】売上高、営業利益ベースによる傾向値(下記にて通貨割合は反映されておられません)

- ・売上高 :1円の円安にて、米ドル50百万円/年、ユーロ50百万円/年、人民元600百万円/年、それぞれ増加
- ・営業利益:1円の円安にて、米ドル10百万円/年、ユーロ10百万円/年、人民元30百万円/年、それぞれ増加

特に圧縮機事業の回復遅延により売上は計画未達。その影響により営業利益は減少も、為替損益の好転により、経常利益以下は期初予想を上回って推移

売上高の差異要因



エアエナジー
コーティング
為替影響

圧縮機: ↓ 中国の市況回復遅延や欧州の景況感悪化による設備投資控えにより想定を下回り推移(-700百万円:計画比、以下同様)

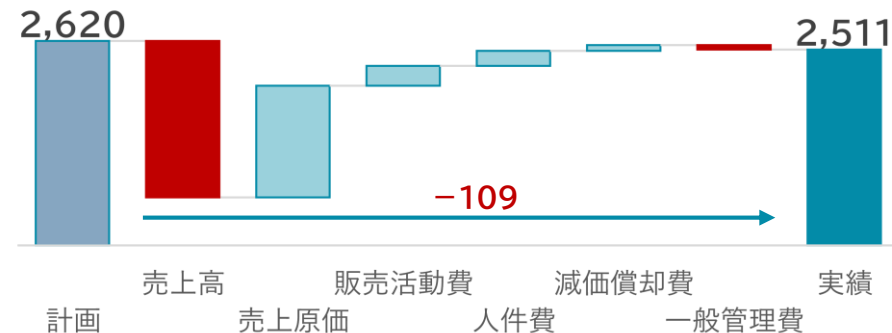
↓ インドの新工場立ち上げ注力に伴う特定市場向け小形圧縮機の営業リソース不足による売上伸び悩み(-600百万円)

塗装機器: ↓ 欧州でのフラグシップモデルスプレーガン普及一巡による落ち込みが想定以上(-200百万円)

↓ 米州の自動車補修市場向けスプレーガンの普及遅延(-460百万円)

↓ 想定レートより円高に進行したことで、-556百万円

営業利益の差異要因



売上原価
売上総利益
販管費
為替影響

↑ 原価率の改善により原価を圧縮

↓ 売上未達により減少

↑ 経費コントロールの効果に加え、為替影響が海外子会社経費を押し下げ

↑ 想定レートより円高に進行したことで、海外経費が圧縮され168百万円増加

経常利益以下の差異要因

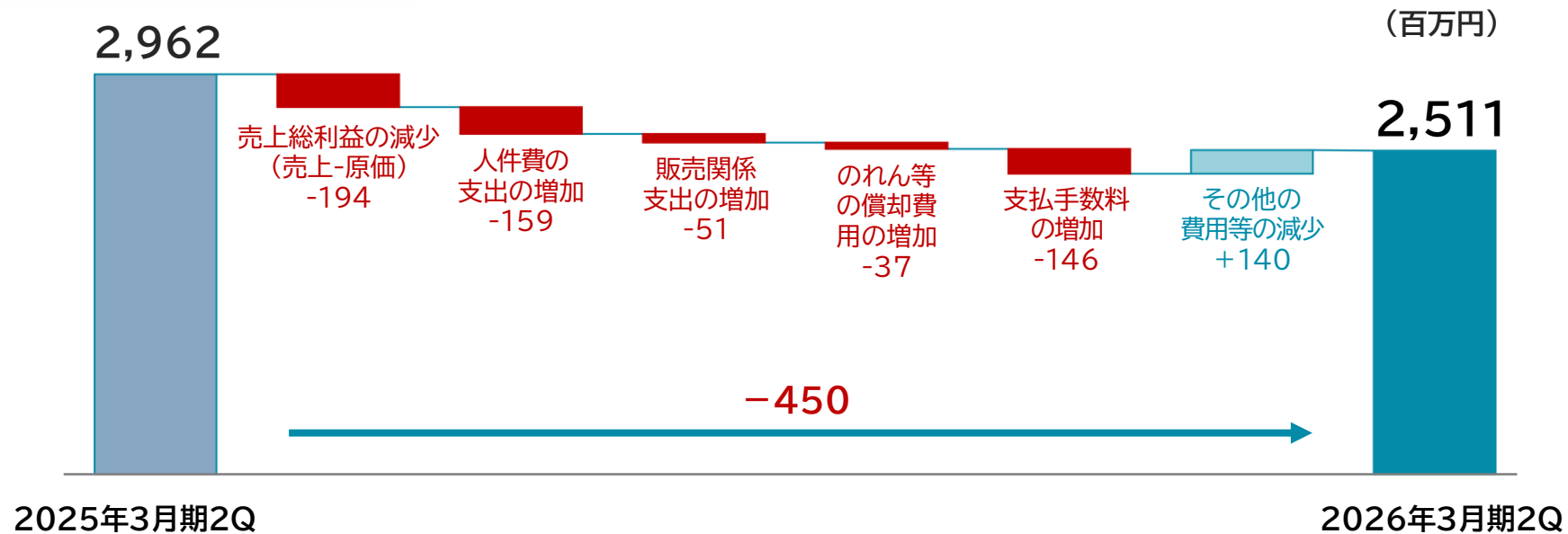
	上期予想	上期実績	差額
経常利益	3,220	3,296	+76
中間純利益※	2,020	2,160	+140

営業外収益

↑ 為替差益の増加

※親会社株主に帰属する中間純利益

売上の落ち込みに伴う売上総利益の減少や販売管理費の増加により減益



売上原価率

- 2026年3月期2Q:53.5% (前年同期比-0.6pt)
- 売上原価(14,096百万円: 同 -540百万円)における為替の影響は、-570百万円
- ✓ グループ内在庫の減少や期末レートの円高進行に伴う在庫評価額の圧縮が売上原価率の低下に寄与

販売管理費率

- 2026年3月期2Q:36.9% (前年同期比+1.9pt)
- 販売管理費(9,716百万円: 同 +255百万円)における為替の影響は、-154百万円
- ✓ 主に日本における人件費が増加
- ✓ M&A検討や中期経営計画の推進、100周年事業に関する支払手数料が主に日本で増加

日本の売上が下支えも売上全体は減収。海外売上比率は67.4%から64.4%に低下

- 日本:2024年10月に実施した価格改定の効果に加え、オイルフリースクロール圧縮機の販売拡大により増収
- 米州:アメリカ通商政策の影響もあり、スプレーガンやエアブラシなどの塗装機器、車両搭載や医療向け圧縮機の売上が減少
- 中国:エアエナジー事業の回復遅延をコーティング事業でカバーできず減収
- その他:インドにおいて特定市場向け小形圧縮機の販売が伸び悩み、売上を押し下げ

	2025年3月期2Q		2026年3月期2Q		前年同期比	
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	8,814	32.6	9,378	35.6	+564	+6.4
欧州	4,705	17.4	4,708	17.9	+3	+0.1
米州	3,693	13.6	3,227	12.3	-465	-12.6
中国	5,951	22.0	5,313	20.2	-637	-10.7
その他	3,896	14.4	3,696	14.0	-199	-5.1
合計	27,060	—	26,325	—	-735	-2.7

(注)1. 日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生
 2. セグメント区分:その他=中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ

日本及び欧州は堅調に推移も、中国の低迷をカバーできず減収

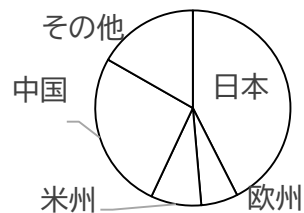
区分	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比		概況(矢印は前年同期比)	
			増減額	増減率 (%)		
売上高	圧縮機	15,077	14,577	-500	-3.3	(日 本) ↑ 昨年10月の価格改定効果に加え、オイルフリースクロール圧縮機の出荷増 (欧 州) ↑ OEM需要が好調に推移し、オイルフリー圧縮機の売上が増加 (米 州) ↓ 車両搭載・医療市場向けオイルフリー圧縮機の売上が減少 (中 国) ↓ 中国内販売の低迷継続に加え、需要先市況の停滞により海外輸出が減少 (その他) ↓ インドの特定市場向け小形圧縮機の売上が減少
	真空機器	1,509	1,233	-275	-18.2	(中 国) ↓ 前年同期に見られたリチウムイオン電池製造関連装置向け真空ポンプの売上が減少
	合計	16,586	15,810	-776	-4.7	
営業利益	エアエナジー	1,493	1,409	-84	-5.7	営業利益率: 8.9%(前年同期比-0.1pt)※1 ↓ 売上の減少により、主に中国の売上総利益が減少 ↑ 子会社の経費コントロールにより販管費が減少

(単位:百万円)

(注)前期4Qより、ECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネスの収益は、「その他」に区分変更。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載。

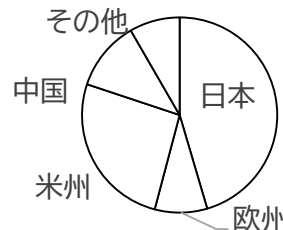
【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※2】

圧縮機(コンプレッサ)



日本 : ○
欧州 : ◎
米州 : ●
中国 : ×
その他 : ●

真空機器



日本 : ○
欧州 : ●
米州 : △
中国 : ×
その他 : ◎

※1(製品別利益率のイメージ)
真空機器 > 塗装機器 > 圧縮機 > 塗装設備

※2(前年同期比)

◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3% ▽:0%~-3%
●:-3%~-10% ×:-10%~

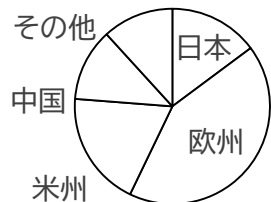
日本及び欧米の塗装機器販売の低迷が継続し、売上全体と営業利益を押し下げ

	区分	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比		概況(矢印は前年同期比)	(単位:百万円)
				増減額	増減率 (%)		
売上高	塗装機器	9,172	8,771	-400	-4.4	(日 本) ↓ 一般塗装市場向けスプレーガンの売上が減少も、シェアは維持 (欧 州) ↓ 自補修市場※1向けフラグシップモデルスプレーガンの普及一巡により売上減少 ↑ エアブラシは引き続き好調に推移 (米 州) ↓ 自補修市場向けスプレーガンの普及遅延やエアブラシの販路見直しに伴い売上減少 (中 国) ↑ マーケティング活動の奏功により、工業塗装・自補修市場向けスプレーガンの売上増加 (その他) ↑ 東南アジアでのマーケティング活動強化などにより、タイを中心に売上増加	
	塗装設備	1,245	1,310	+65	+5.2	(日 本) ↓ 環境装置の売上が減少 (中 国) ↑ 工業製品向け塗装設備などの納入により売上増加 (日本・中国・インド) ↑ 自動車製造に関連する案件の受注残高が前年同期比で増加	
	合計	10,417	10,082	-335	-3.2		
営業利益	コーティング	1,445	1,237	-207	-14.4	営業利益率:12.3%(前年同期比-1.6pt)※2 ↑ 利益率の高い塗装機器の売上減少に伴い、アメリカを中心に利益が減少	

(注)前期4Qより、ECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネスの収益は、「その他」に区分変更。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載。

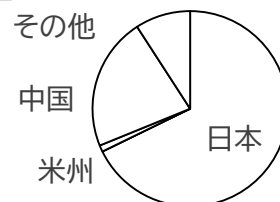
【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※3】

塗装機器



- 日 本 : ●
- 欧 州 : ▽
- 米 州 : ×
- 中 国 : ◎
- その他 : ○

塗装設備



- 日 本 : ●
- 欧 州 : -
- 米 州 : -
- 中 国 : ◎
- その他 : ×

※1自補修市場=自動車補修市場

※2(製品別利益率のイメージ)

真空機器 > 塗装機器 > 圧縮機 > 塗装設備

※3(前年同期比)

◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3% ▽:0%~-3%

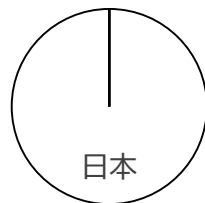
●:-3%~-10% ×:-10%~

主要子会社※1の事業活動は堅調に推移。一方で、新規事業開拓に向けた先行投資の実施により営業損失を計上

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比		概況(矢印は前年同期比) (単位:百万円)
			増減額	増減率(%)	
売上高	55	432	+376	+674.5	(日 本) ↑ DIY向け機器の販売をその他事業に移管 ↑ 大手通販サイトでのコンシューマー向け製品の販売を開始し、販路が拡大 ↑ モビリティアフターサービスの日本店舗を10月にオープン(詳細:P13)
営業利益	23	-134	-157	—	営業利益率: -31.1%(前年同期比 —) ↓ 日本及びフィリピンにおけるモビリティアフターサービス事業の新規展開に向けた準備費用が発生

- (注) 1. 前4Qより、「エアエナジー事業」及び「コーティング事業」に含まれていたECサイト販売をはじめとするコンシューマービジネスの収益は、事業戦略上の重要性の観点から比較を容易にするため「その他」の区分を新設し、区分変更。前期については、区分変更を反映した遡及処理後の数値を掲載。
2. 1Qより、従来「エアエナジー事業」及び「コーティング事業」に区分していたDIY向け機器の収益については、製品の性質や販売体制等を総合的に勘案し、「その他」へ区分変更。
3. 「その他」事業には、コンシューマー向け製品の販売やモビリティアフターサービス事業を展開する日本の連結子会社に関する収益などを含む。

【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※2】



日本 : ◎
 欧州 : -
 米州 : -
 中国 : -
 その他 : -

※1 株式会社ANEST IWATA A.I.R. : 2024年7月設立

※2 (前年同期比)

◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3%
 ▽:0%~-3% ●:-3%~-10% ×:-10%~

インドの中形圧縮機組み立て工場の完成などにより、固定資産が増加。自己資本率は68.8%(前期末比+1.1pt)

		2025年3月期 通期期末	2026年3月期 2Q	対前期末差異		
		実績(百万円)	実績(百万円)	増減額(百万円)	増減率(%)	主な増減要因
資産	流動資産	45,229	44,253	-976	-2.2	・「現金及び預金」の減少 -1,194百万円
	固定資産	23,973	24,678	+705	+2.9	・「建物及び構築物(純額)」の増加 +267百万円 ・「土地」の増加 +399百万円
	資産	69,202	68,932	-270	-0.4	
負債及び 資本	流動負債	12,161	12,129	-31	-0.3	・「支払手形及び買掛金」の減少 -182百万円
	固定負債	3,479	3,311	-168	-4.8	・「リース債務」の減少 -169百万円
	負債	15,641	15,440	-200	-1.3	
	株主資本	41,435	42,736	+1,300	+3.1	・「利益剰余金」の増加 +1,250百万円
	その他の 包括利益累計額	5,417	4,697	-720	-13.3	・「為替換算調整勘定」の減少 -848百万円
	非支配株主持分	6,707	6,058	-649	-9.7	
	純資産	53,561	53,491	-70	-0.1	
負債・純資産	69,202	68,932	-270	-0.4		

国内外で事業基盤強化と生産能力拡充を目的とした設備投資を実施

	2025年3月期		2026年3月期	
	2Q累計実績(百万円)	2Q累計実績(百万円)	通期計画(百万円)	進捗率(%)
設備投資	1,536	1,873	3,450	54.3
減価償却費	1,095	1,114	2,400	46.4
研究開発費※	878	794	2,000	39.7

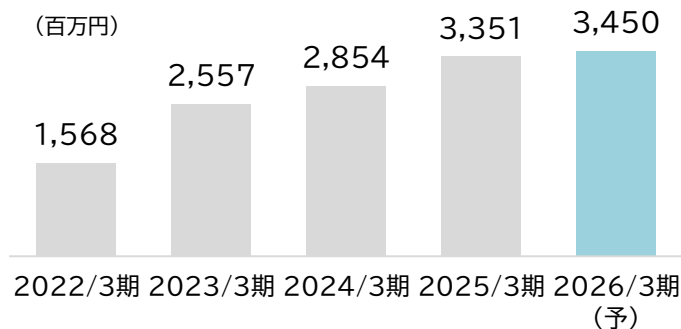
※研究開発費:研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値

主な設備投資

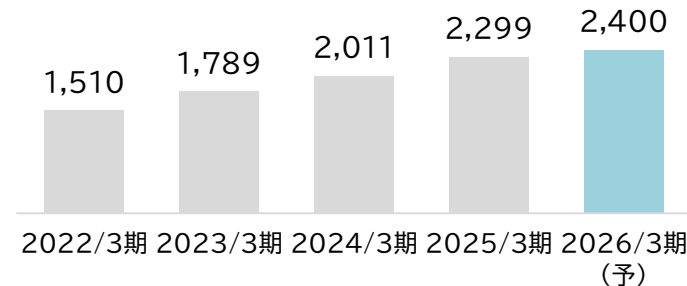
実績

- 日本:
 - ・ 本社における土地の取得や試作棟に関する設備の納入
 - ・ モビリティアフターサービス店舗の新設 (詳細:P13)
 - ・ 各生産拠点における設備の更新・増強の推進
- 欧州:塗装機器事業の販売基盤強化を目的とした建物の取得
- インド:中形圧縮機の組立工場が完成。今期4Qより本格稼働開始予定

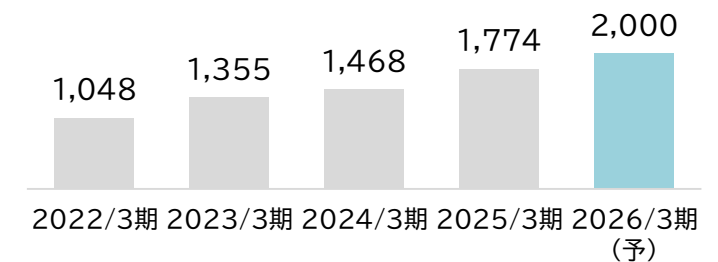
設備投資額 (百万円)



減価償却費 (百万円)



研究開発費 (百万円)



アメリカ通商政策の影響額については今期は軽微と試算(次項)。現時点では、通期業績見通しは据え置き

		2025年3月期		2026年3月期			
		実績(百万円)	構成比(%)	目標値(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高		54,411	100.0	58,000	—	+3,588	+6.6
エアエナジー	圧縮機	30,787	56.6	—	—	—	—
	真空機器	2,822	5.2	—	—	—	—
	小計	33,609	61.8	35,800	61.7	+2,190	+6.5
コーティング	塗装機器	17,943	33.0	—	—	—	—
	塗装設備	2,736	5.0	—	—	—	—
	小計	20,679	38.0	22,100	38.1	+1,420	+6.9
その他	小計	123	0.0	100	0.2	-23	-18.8
営業利益		5,903	10.8	5,550	9.6	-353	-6.0
エアエナジー	営業利益	3,388	—	3,400	—	+11	+0.3
コーティング	営業利益	2,608	—	2,750	—	+141	+5.4
その他	営業利益	-94	—	-600	—	-505	—
経常利益		7,139	13.1	6,710	11.6	-429	-6.0
親会社帰属当期純利益		4,276	7.9	4,150	7.2	-126	-3.0
平均為替レート	円/米ドル	151.58	—	151.50	—	-0.08	
	円/ユーロ	163.95	—	164.00	—	0.05	
	円/人民元	21.02	—	21.00	—	-0.02	

中長期的な成長投資の継続や外部環境の停滞により収益悪化も、販売促進策の実施と国内外での値上げなどにより計画達成を目指す

下期の事業環境

- 国内外の人件費や物流コストに加え、原材料及び部材の調達価格の上昇を見込む
- 対円為替レートは2025年3月期と同水準を想定。ただし、不確実性が高いため、目標値に為替差損益は含めず
- アメリカの通商政策による影響については、追加関税適用前の在庫補充や現地価格改定の実施などにより、収支上の影響は軽微。一方で、値上げに伴う購買意欲の減退による業績への影響は一定程度見込む

売上高

- 各エリアにおいて挽回策を展開することで、全体は増収の見込み
 - ✓ 日本では、物流費・人件費を含む調達コストの上昇を織り込んだ値上げを2Qに実施。販売単価が上昇
 - ✓ 欧米では、限定モデルのスプレーガン等を主体とした短期販売促進策の実施により、自動車補修市場向け販売が伸長
 - ✓ アメリカでは、米国通商政策の影響を踏まえた3Q末の値上げ実施により、販売単価が上昇
 - ✓ 中国では、マーケティング活動の奏功により、コーティング事業を中心に回復傾向が継続
 - ✓ インドでは、中形圧縮機組立工場の本格稼働の開始や販売体制の強化により、売上が伸長
 - ✓ コーティング事業内の人員配置の見直しにより、塗装設備におけるサービス需要の獲得を強化。あわせて、小規模案件の早期受注による売上が伸長

営業利益

- 日本を含む人件費が増加
- 開発投資の強化など、さらなる成長に向けた投資を継続
- 調達コスト等の上昇分は販売価格へ転嫁
- 経費コントロールを継続

経常利益 / 当期純利益

- 為替差益の減少
- 政策保有株式の縮減継続
- 2025年3月期に計上した事業資産の評価損の解消

その他事業:マーケティング拠点を兼ねた車体整備工場をオープン(日本)

A.I.R.社※1が、モビリティアフターサービス事業の一環として、「オートテックベース湘南」を10月にオープン。この施設では、板金塗装、洗車、オイル・タイヤ交換など幅広いアフターサービスを提供

戦略的 意義

- 機器を「作る側」から「使う側」へ視点を転換し、現場のリアルなニーズを反映した製品開発サイクルを確立
- 車体整備事業者との競合ではなく、共創を目指し、車体整備業界の技術向上と活性化に貢献。業界全体の成長を促進

将来 展望

- フィリピンでの職業専門学校連携や車体整備工場の設立計画を推進し、グローバルに展開
- モビリティアフターサービス事業を海外に展開し、国際市場での事業拡大と収益基盤の強化を推進



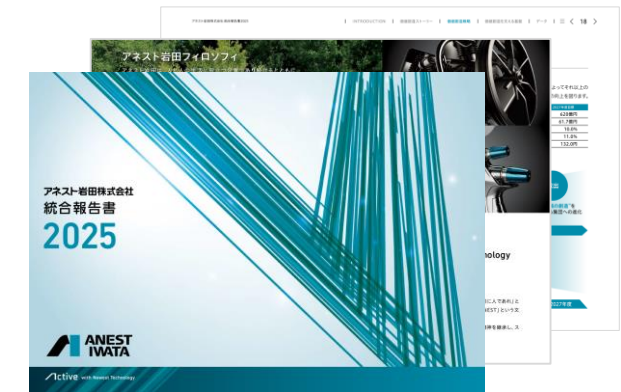
※株式会社ANEST IWATA A.I.R. : 第三の事業確立を目的に設立した日本子会社。2024年7月設立

統合報告書2025を発行

2025年9月、統合報告書2025を当社コーポレートサイトで公開。事業戦略のほか、ESG情報などの財務/非財務情報を網羅的に掲載

主な コンテンツ

- フィロソフィに込められた思い
- 社長インタビュー、社外取締役鼎談
- 価値創造プロセス
- 中長期成長イメージ、中期経営計画
- 人的資本戦略、サプライチェーンマネジメント、ガバナンス など



報告書本文は、
[当社コーポレートサイト](#)を
 ご確認ください



持分法投資利益は512百万円(前年同期比+14百万円)。アメリカで圧縮機を販売する持分法適用会社の業績が堅調に推移

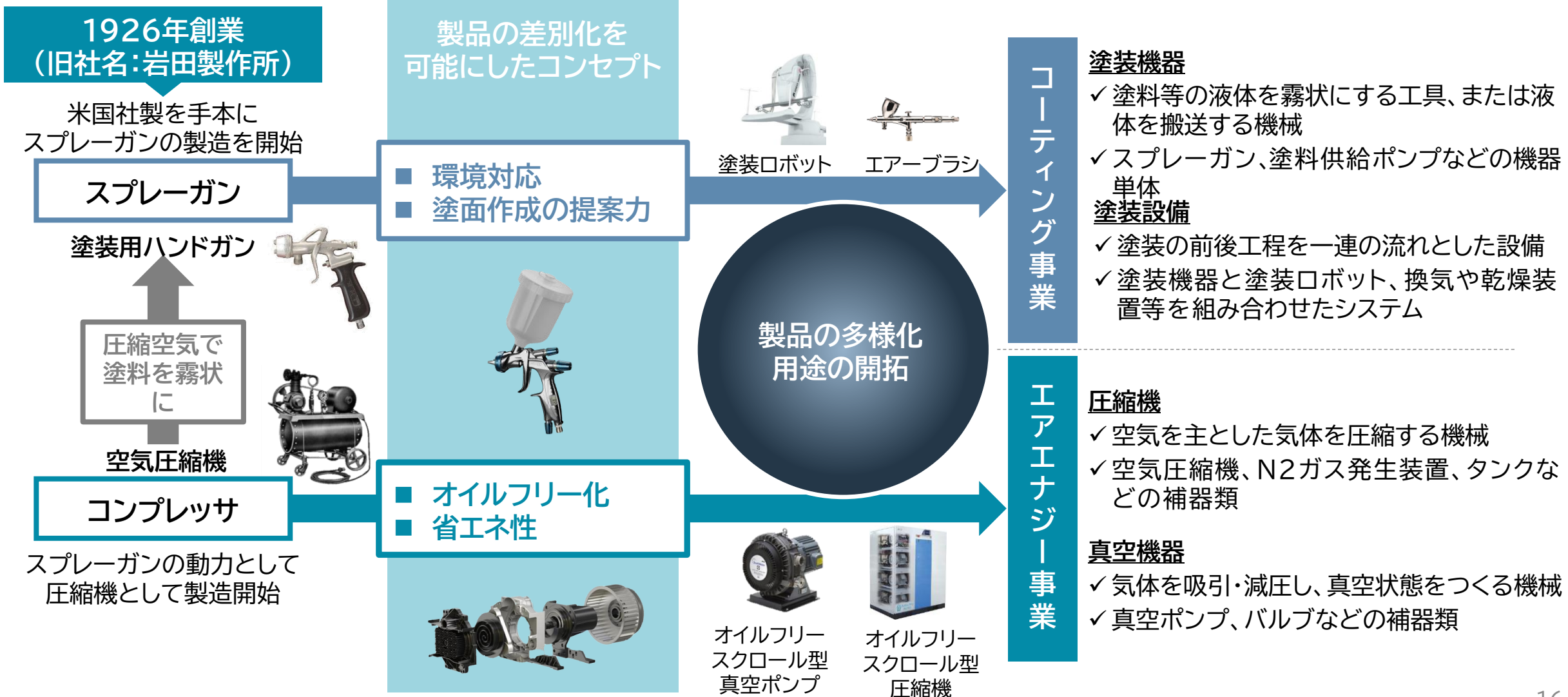
	2025年3月期2Q		2026年3月期2Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率変化 (pt)
売上高	27,060	—	26,325	—	-735	-2.7	—
売上原価	14,637	54.1	14,096	53.5	-540	-3.7	-0.6
売上総利益	12,423	45.9	12,228	46.5	-194	-1.6	+0.6
販売管理費	9,460	35.0	9,716	36.9	+255	+2.7	+1.9
営業利益	2,962	10.9	2,511	9.5	-450	-15.2	-1.4
営業外収益	717	2.7	840	3.2	+123	+17.2	+0.5
営業外費用	217	0.8	56	0.2	-161	-74.1	-0.6
経常利益	3,462	12.8	3,296	12.5	-166	-4.8	-0.3
特別利益	3	0.0	5	0.0	+2	+70.1	+0.0
特別損失	3	0.0	36	0.1	+32	+969.0	+0.1
税金等調整前純利益	3,462	12.8	3,265	12.4	-196	-5.7	-0.4
法人税等	795	2.9	755	2.9	-40	-5.1	-0.0
非支配株主帰属純利益	471	1.7	349	1.3	-121	-25.8	-0.4
親会社株主帰属純利益	2,194	8.1	2,160	8.2	-34	-1.5	+0.1

<参考情報> 業積推移

【累計】 単位:百万円		2026年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		12,088	26,325		
前年同期比		-3.2%	-2.7%		
エアエナジー	圧縮機	6,618	14,577		
	前年同期比	-3.2%	-3.3%		
	真空機器	597	1,233		
	前年同期比	-20.2%	-18.2%		
	売上高	7,215	15,810		
前年同期比	-4.9%	-4.7%			
コーティング	塗装機器	4,427	8,771		
	前年同期比	+1.8%	-4.4%		
	塗装設備	291	1,310		
	前年同期比	-44.4%	+5.2%		
売上高	4,719	10,082			
前年同期比	-3.2%	-3.2%			
その他	売上高	153	432		
	前年同期比	+451.0%	+674.5%		
営業利益		929	2,511		
前年同期比		-8.7%	-15.2%		
エアエナジー	営業利益	478	1,409		
	前年同期比	-15.4%	-5.7%		
コーティング	営業利益	533	1,237		
	前年同期比	+21.6%	-14.4%		
その他	営業利益	-82	-134		
	前年同期比	—	—		

【3か月ごと】 単位:百万円		2026年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		12,088	14,236		
前年同期比		-3.2%	-2.3%		
エアエナジー	圧縮機	6,618	7,958		
	前年同期比	-3.2%	-3.4%		
	真空機器	597	635		
	前年同期比	-20.2%	-16.4%		
	売上高	7,215	8,594		
前年同期比	-4.9%	-4.5%			
コーティング	塗装機器	4,427	4,344		
	前年同期比	+1.8%	-9.9%		
	塗装設備	291	1,018		
	前年同期比	-44.4%	+41.4%		
売上高	4,719	5,363			
前年同期比	-3.2%	-3.3%			
その他	売上高	153	278		
	前年同期比	+451.0%	+897.7%		
営業利益		929	1,582		
前年同期比		-8.7%	-18.6%		
エアエナジー	営業利益	478	930		
	前年同期比	-15.4%	+0.3%		
コーティング	営業利益	533	703		
	前年同期比	+21.6%	-30.0%		
その他	営業利益	-82	-52		
	前年同期比	—	—		

塗装用スプレーガンとその動力となるコンプレッサの製造を出発点に、製品の多様化、用途の開拓を行いながら事業を拡大し続けております



将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問合せ先: アネスト岩田株式会社
経営企画部 IR広報グループ
TEL: 045-591-9344
E-mail: ir_koho@anest-iwata.co.jp
URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp>